

大したもん蛇まつり

誕生までの秘話

須貝 正春さん
(高瀬)



つりを作りたいという想いはあつたものの、どうして形にしているのか分からず路頭に迷う日々が続きました。

昭和61年にスタートした「せきかわふるさと塾」のメンバーだった当時、NHKから「ふるさと文化祭」という番組を作りたいと話がありました。村全体が盛り上がるような大きなまつりをやりたい―塾メンバーで内容についての検討が始まりました。しかし、会議になれば毎回悩んでばかりで、話は進展せず…。村に伝わる「大里峠伝説」に出てくる大蛇を活用し、ま

ある日、TVを見てみると「日本むかしばなし」の放送が始まりオープニングに流れる映像を見て「これだ!」とひらめきました。地元産の竹とわらを使って大きな大蛇を作ろう―そこから試行錯誤の日々が続きました。大きさ、体の模様、特に胴体部分の六角形の模様には苦労したのを覚えています。誰にも相談せず、一人で2か月間悩み続けました。区長に気づかれ、心配されたこともありました。大蛇づくりを各地区の体育協会にお願いしようと会議を開催しましたが、出席者から大反発。言い合いが続きましたが、出席者のひとりから「協力する」の声が。あの瞬間のことは今でも忘れられません。



第1回のまつり終了後は反響がものすごく大きかったのを覚えています。新聞やテレビなどに大きく取り上げられ「すごいことをやった」と実感しました。

新しいことを始めようとすると地元からは批判の声が出ますが、冷静に判断してくれるのは外の人たち。外の声を聞くことでみんなが受け入れてくれるようになるんです。大人が作り上げていく姿を若い世代が見ていく。こうして世代交代がうまく進んでほしいと思います。

家族と再会したときは本当に嬉しかった。

それから一週間ほど家族総出で家の泥出しを行いました。井戸があつたので、衣類に使えるようなものは洗って使いました。食事はソーメンに砂糖をかけて食べた思い出があります。一番印象に残っているのは、牛や豚の死骸がゴロゴロ口していて、おいがひどかったことです。アルバムも全部泥まみれになってしまい、

子どもの頃の写真は1枚も残っていません。自衛隊が入ったのは水害発生から数日後のことでした。自衛隊のへりを見たときはホッとしました。今の若い人や子どもたちは羽越水害の事を知らないと思います。「災害は忘れた頃にやってくる」という言葉もあります。私たちが体験したことをしっかり教え、語り継いでいくことが大切だと思います。

▼写真は大島集落のようす。住宅の一階部分が完全に浸水していることがわかります。大島集落は水量が一番多く、床上4桁を記録しました。



「後期高齢者医療制度」のお知らせ

Vol.4 保険料を忘れずに納めましょう

後期高齢者医療制度は、加入者一人ひとりから保険料を納めていただき、ケガや病気になった方を高齢者の方を含めた社会全体で支えている制度です。皆さんから納めていただく保険料は、皆さんがケガや病気をしたときの医療費などを支払うための大切な財源となります。

これからも健全な医療保険制度を維持していくために、保険料は期限内に納めましょう。

保険料の納付に口座振替をご利用ください

【保険料を納付書で納めている方(普通徴収)】

納付書で納めている方は、口座振替にすると保険料の納め忘れの心配や、納期のたびに金融機関に行く必要がなくなり大変便利です。

口座振替への手続きは、役場住民福祉課または金融機関窓口にお申し込みください。

【口座振替への 手続きに必要なもの】

- 振替口座の預金通帳
- 通帳のお届け印
- 保険証

【保険料を年金から納めている方(特別徴収)】

年金から納めている方でも、手続きにより年金からの納付が中止され、口座振替による納付に変更することができます。

口座振替への手続きは、役場住民福祉課にお申し出ください。

※ご家族の口座からの納付に変更した場合、社会保険料控除は、実際にご負担した方に適用されません。これにより、世帯全体の所得税や住民税の税額に影響が生じる場合がありますので、十分ご注意ください。

どうしても保険料の納付が困難な場合には…

役場住民福祉課の窓口では、納付相談をいつでも受け付けています。

現在の状況をお聞きし、それぞれの事情に合った納付計画を一緒に考えていきますので、納付が困難な場合にはお早めにご相談ください。

火災などの災害や所得の著しい減少など、特別な事情により保険料の納付が困難なときは、申請により保険料の徴収の猶予や減免を受けられる場合がありますので、お早めに役場住民福祉課にご相談ください。